· /山/干	: -=	専門学校	開講年度	平成30年度 (2	2018年度)	授業科目	離散数学 Ⅱ		
科目基礎		XI-E F 1 F	. 」 / Dup T /文	. 」	-U±U Γ/X/	1人木门口	Lardvxv 1 T		
科目番号	~ II > TIA	2018-4	46	科目区分	専門 / 必	· 修			
授業形態		授業			単位の種別と単位		学修単位: 1		
開設学科		制御情幹	 B工学科		対象学年	4			
開設期		前期	<u> </u>		週時間数		前期:2		
教科書/教	 材			 トリル著、離散数学/					
担当教員	-	鈴木 康			,				
到達目標		'							
2.簡単な約3.応用より 4.組み合わ	且み合わせ問)の組み合ね)せ問題の問	問題を解くる つせ問題の∑ 寺間計算量を	ことが出来る 立式を説明できる(E ト評価できる	適切に表現できる(寮 31-3) もしたり、逆方向に変		ば良以上)			
ルーブリ									
			理想的な到達し	レベルの目安(優/良)	標準的な到達レベルの目安(可) 未到達レベルの目安				
				問題や用語を導入さ		•			
評価項目1	_		カラスライルに向越で用語で与べられた記号を使って完全に表現できる		□与えられた問題や用語を導入された記号を使って大体表現できる		□与えられた問題や用語を導入された記号を使って表現できない		
評価項目2	2		□簡単な組みる とが出来る	□簡単な組み合わせ問題を解くこ とが出来る			□簡単な組み合わせ問題を解くこ とが出来ない		
評価項目3(B1-3)			□応用よりの組み合わせ問題の立 式を説明でき正しい答えを導くこ とが出来る		□応用よりの組み合わせ問題の立 式を説明できる		Z □応用よりの組み合わせ問題の立式を説明できない		
評価項目4			□組み合わせ で解く場合のB きる	□組み合わせ問題をコンピュータ で解く場合の時間計算量を評価で きる		の組み合わせの として評価でき	○ □組み合わせ問題の組み合わせの 総数を時間計算量として評価でき ない		
評価項目5			□図形による? 用いた表現に3 に変換できる	ブラフ表現を集合を 変換したり、逆方向	□図形によるグラフ表現を集合を 用いた表現に変換できるか、逆方 向に変換できる		□図形によるグラフ表現を集合を 用いた表現に変換できないし、逆 も出来ない		
評価項目6				□図形の同型性を写像を用いて説 明ないし証明できる		判断できる	□図形の同型性を判断できない		
	`		,	習・教育目標(本科の					
教育方法 概要 授業の進	`	離散数等対する数本教科で 座学によ	さとは与えられた問 文学であるとも評さ では組み合わせ理論 なる。適宜ノート参 のた学生は課題提出	題をコンピュータで れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら	解かせる際にプログは集合・写像理論、 と論理式、集合や写 施しノート検査に換い採点を行う。	ラマが利用する 組み合わせ理証 像を用いて基礎 える。演習は監	る数学である。近年では有限の対象に 魚、グラフ理論を中心に展開される。		
教育方法 概要 授業の進	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	離散数等対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	をとは与えられた問 対学であるとも評さ では組み合わせ理論 はる。適宜ノート った学生は課題提出 の課題レポート等は	題をコンピュータで! れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 ・照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、、JABEE、大学評価	解かせる際にプログは集合・写像理論、と論理式、集合や写施しノー、検査に換い採点を行う。	ラマが利用する 組み合わせ理語 像を用いて基礎 える。演習は監	る数学である。近年では有限の対象に 論、グラフ理論を中心に展開される。 壁を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 育実施検査に使用することがあります		
教育方法 概要 授業の進む 注意点	か方・方法	離散数等対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	をとは与えられた問 対学であるとも評さ では組み合わせ理論 はる。適宜ノート った学生は課題提出 の課題レポート等は	題をコンピュータで! れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 ・照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、、JABEE、大学評価	解かせる際にプログは集合・写像理論、と論理式、集合や写施しノー、検査に換い採点を行う。	ラマが利用する 組み合わせ理語 像を用いて基礎 える。演習は監	る数学である。近年では有限の対象に 命、グラフ理論を中心に展開される。 壁を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た		
教育方法 概要 授業の進む 注意点	か方・方法	離散数当対する数本教科では、	をとは与えられた問文学であるとも評さでは組み合わせ理論にる。適宜ノート参いた学生は課題提出の課題とポート等は 対象の表別ではいる教員は当	題をコンピュータで! れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 ・照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、、JABEE、大学評価	解かせる際にプログは集合・写像理論、 は集合・写像理論、 と論理式、集合や写施しノート検査に換い採点を行う。 ・学位授与機構、文なくとも1週間前に	ラマが利用する 組み合わせ理論 像を用いて基礎 える。演習は監 部科学省の教育 教科目担当教員	る数学である。近年では有限の対象に 命、グラフ理論を中心に展開される。 陸を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 可実施検査に使用することがあります 員へ連絡してください。		
教育方法 概要 授業の進む 注意点	か方・方法	離散数学 本教 で 本教 で に よい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい はい	学とは与えられた問数学であるとも評さでは組み合わせ理論にる。適宜ノート参いた学生は課題提出の課題レポート等は対している教員は当	題をコンピュータではれるがぐたいてきにからグラフ理論を記号 ・照可能な小試験を実 の形で提出してもらい、JABEE、大学評価 該授業が行われる少さ	解かせる際にプログは集合・写像理論、と論理式、集合や写施しノート検査に換い採点を行う。・学位授与機構、文なくとも1週間前に	ラマが利用する 組み合わせ理論 像を用いて基础 える。演習は単 部科学省の教育 教科目担当教員	る数学である。近年では有限の対象に 命、グラフ理論を中心に展開される。 陸を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 可実施検査に使用することがあります 員へ連絡してください。		
教育方法 既要 受業の進む 主意点	か方・方法	離散数等 対する数で 本教学にかっ らなまた。 2.授業参	学とは与えられた問数学であるとも評さでは組み合わせ理論にる。適宜ノート参いた学生は課題提出の課題レポート等は対している教員は当	題をコンピュータで! れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 ・照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、、JABEE、大学評価	解かせる際にプログ は集合・写像理論、 と論理式、集合や写施 しノート検査に換い採点を行う。 ・学位授与機構、文 なくとも1週間前に 提	ラマが利用する組み合わせ理論像を用いて基础える。演習は監部科学省の教育教科目担当教験を対している。 カーマー おいま おいま はい かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	る数学である。近年では有限の対象に 論、グラフ理論を中心に展開される。 壁を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 資実施検査に使用することがあります 員へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき		
教育方法 既要 受業の進む 主意点	か方・方法	離散数3 本 本 教学にかった。 1.	をとは与えられた問 な学であるとも評さ では組み合わせ埋業 たる。適宜ノート等 ただ学生は課題提出 の課題レポート等は 参観される教員は当 授業内容 ガイダンス、記号 組み合わせと順列	題をコンピュータでは れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 はによる表現について	解かせる際にプログ は集合・写像理論、 と論理式、集合や写 施しノートラ。 ・学位授与機構、文 なくとも1週間前に 提 を を を を を を が が が が が が が が が が が が が	ラマが利用する 組み合わせ理調像を用いて基礎 える。演習は監部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 選業の進め方、 に の法則と積の	る数学である。近年では有限の対象に 論、グラフ理論を中心に展開される。 壁を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 育実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる		
教育方法 既要 受業の進む 主意点	か方・方法	離散数学 離対す数名 本学なる 1. 記授業 週 1週 2週 3週	学とは与えられた問 な学であるとも評さでは組み合わせ理論 はる。適宜ノート参 った学生は課題提出 っ課題レボート等は き観される教員は当 授業内容 ガイダンス、記号 組み合わせと順列	題をコンピュータでは れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 窓可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少さ はよる表現について は1)	解かせる際にプログは集合・写像理論、 は集合・写像理論、 と論理式、集合や写施 した論理式、ト検査に換い採点を行う。 ・学位授与機構、文なくとも1週間前に 提	ラマが利用する 組み合わせ理語像を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を関係を用いて基礎を関係を制造します。 が対象科目担当教養を関係を関係を関係を表現を表現を表現と表現と表現と表現と表現を表の性質に関係を表の性質	る数学である。近年では有限の対象に 論、グラフ理論を中心に展開される。 管を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 育実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について		
教育方法 既要 受業の進む 主意点	か方・方法	離散数等 387 (こかから) 1. 試験 2. 授業 38 (38 (38 (38 (38 (38 (38 (38 (38 (38	をとは与えられた間 対学であるとも評さ は組み合わせ理論 はる。適宜ノート参 た学生は課題提出 ・課題レポート等は を観される教員は当 授業内容 ガイダンス、記号 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列	題をコンピュータで れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 号による表現について リ(1)	解かせる際にプログは集合・写像理論、 と論理式、集合や写施しノート検査に換い採点を行う。 ・学位授与機構、文なくとも1週間前に 提	ラマが利用する 組み合わせ理論 像を用いて基礎 える。演習は監部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 業業の進め方、 同の法則と積の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る数学である。近年では有限の対象に 論、グラフ理論を中心に展開される。 登を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 背実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る		
教育方法 概要 受業の進む 主意点	か方・方法	離対数3347 座らか1 1. 試験 2. 授業 3 週 2 週 3 週 4 週 5 週	をとは与えられた問 文学であるとも評さ では組み合わせ理論 にる。適宜ノート参 た学生は課題提出 のまままままます。 課題レポート等は 対理される教員は当 授業内容 ガイダンス、記号 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列	題をコンピュータで れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 号による表現について リ(1)	解かせる際にプログは集合・写像理論、 と論理式、集合や写施しノート検査に換い採点を行う。 ・学位授与機構、文なくとも1週間前に 提	ラマが利用する 組み合わせ理論 像を用いて基礎 える。演習は監部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 業業の進め方、 同の法則と積の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る数学である。近年では有限の対象に 論、グラフ理論を中心に展開される。 管を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 育実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について		
教育方法 概要 受業の進む 主意点	か方・方法	離散数等 本 座 ら は に か 験 t こ	をとは与えられた問文学であるとも評さでは組み合わせ理論にる。適宜ノート等はできるとも課題提出では、またのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	題をコンピュータで れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 号による表現について リ(1)	解かせる際にプログは集合・写像理式、集合や写像理式、集合や写施しノート持つで、 ・学位授与機構、文なくとも1週間前に 提っている。	ラマが利用する 組み合わせ理証 像を用いて基础 える。演習は監部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 業の進め方、 回の法則と積の 項係数の性質 なな問題の解 をない問題の解	る数学である。近年では有限の対象に 高、グラフ理論を中心に展開される。 歴を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 資実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明でき、解くことが出来る		
教育方法 概要 受業の進む 注意点 授業計画	か方・方法	離対す教学なるで を	をとは与えられた問であるとも評さ であるわせ埋業 では組み合わせ埋無 にる。適宜ノー見提出 を観される教員は当 授業内容 ガイダンス、記号 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列 組み合わせと順列 調習 時間計算量(1)	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 きだの形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 けによる表現について リ(1) リ(2)	解かせる際にプログ は集合・写像理論、 と論理式、集合や写施した に か採点を行う機構、文 なくとも1週間前に 提っるでは なくとも1週間前に おくとも1週間前に は を は を は を は を は を は を は を は を は を は	ラマが利用する 組み合わせ理調像を用いて基礎 える。演習は重部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 選業の進め方、 の法則と積の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。 管を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 可実施検査に使用することがあります 最へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明でき、解くことが出来る さ方を説明でき、解くことが出来る		
教育方法 概要 受業の進む 注意点 授業計画	か方・方法	離対本 座ら 1 1	学とは与えられた問であるとも評さであるとも記さいは組み合わせ埋職にある。適宜ノート参いた学生は課題とボート等は対象はされる教員は当野業内容があるわせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列組み合わせと順列	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 きだの形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 けによる表現について リ(1) リ(2)	解かせる際にプログは集合では、	ラマが利用する 組み合わせ理語像を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を関係を用いて基礎を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。 管を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 育実施検査に使用することがあります 動へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明でき、解くことが出来る について意味を説明できる 解し説明できる		
教育方法 既要 受業の進む 主意点 受業計画	か方・方法	離対本 座ら 1. 1. 1. 2. 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月 月	をとは与えられた問では知うない。 は組み合わせ理論にある。 では組み合わせ理論にある。 ではは悪題提出できる。 を学生は課題提出できる。 を学生は不一ト等は を関される教員は当ます。 授業内容がある。 がは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 きだの形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 けによる表現について リ(1) リ(2)	解かせる際にプログは集合・写像は一次 (本)	ラマが利用する 組み合わせ理 像を用いて基础 える。演習は重 部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 選業の進め方、 の法則と積の 項係数の性質 なな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。 を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 背実施検査に使用することがあります は、連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明でき、解くことが出来る について意味を説明できる 解し説明できる 解し説明できる 解し説明できる		
教育方法 既要 受業の進む 主意点 受業計画	か方・方法	離対本 座ら 1	をとは与えられた問ではある合わせ理論にある合わせ理論にあるからでは課題レポート等は対している教員は当りを開からない。 はいまれる教員は当りを実施した。 記号 はいる からい はい	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 きだの形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 けによる表現について リ(1) リ(2)	解かせる際にプログ は集合・写像合い写像 (金) は (集) は (集) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (7) を (7	ラマが利用する 組み合わて基値 像を用いて基値 える。演習は重 部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 受験の進め方、 回の法則との関題の解 なな問題の解 なな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉を	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。整を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 背実施検査に使用することがあります 最へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明でき、解くことが出来る とのいて意味を説明できる 解し説明できる 解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる		
教育方法 既要 受業の進む 主意点 受業計画	か方・方法	離対本 座られています 学な 記述 業 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	をとは与えられた問数学であるとも記述されるかけ世理論にあるわけ世理論には 調題レポート等は 対	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 きだの形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 けによる表現について リ(1) リ(2)	解かせる際にプログ は集合・写像合い写像 (金) は (集) は (集) を (4) を (5) を (5) を (6) を (6) を (7) を (7	ラマが利用する 組み合わて基値 像を用いて基値 える。演習は重 部科学省の教育 教科目担当教員 ごとの到達目 受験の進め方、 回の法則との関題の解 なな問題の解 なな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなな問題の解 はなない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉を必ずにある。 は、ない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉をない言葉を	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。 を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 育実施検査に使用することがあります 高へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明でき、解くことが出来る について意味を説明できる 解し説明できる 解し説明できる 解し説明できる		
教育方法 既要 受業の進む 主意点 受業計画	か方・方法	離対本 座ら 1. 授業 1 週 1 週 週 週 週 週 週 週 1 1 週 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 週 1 1 2 月 1 1 2 月 1 1 2 月 1 1 2 月 1 1 2 月 1 1 2 月 1 1 2 月 1 1 1 2 月 1 1 1 1	をとは与えられた問か学であるとも記された問うでは組み合わせ理論にある。 適宜ノー 課題レポート等は 対 では では では では では できます では できます できます できます できます できます できます できます できます	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 きだの形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 けによる表現について リ(1) リ(2)	解かせる際にプログス は集合・写像像合・写像像合・写像像合・写像像合 文 を は	ラマが利用する 組み合われて基础 表を用いて基础 える。演習は 部科学省の教育 教科目担当教息 ごとの独か方、 の法則と積の ではないでは、 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。		
教育方法 既要 受業の進む 主意点 受業計画	力方·方法 IstQ	離対本座ら1. 授	をとは与えるとれた問な学では組み合わせ世理論をはまる。適宜は課題レポート員は対している教員は当りでは、これを対している。 記述 はいまれる 教員は当りでは、これを対している。 記述 はいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる はいまれる かいまれる はいまれる はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 との形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 ははよる表現について り(1) り(2)	解かせる際にプログ は集合・・字像像合い。 と論理式ート行う。 ・学位投点を授与機構、 ・学位をも1週間前に をくとも1週間前に をくとも1週間前に をくとも1週間前に をくとも1週間前に をくとも1週間前に をくとも1週間前に をくとも1週間前に をくとも1週間前に をした。	ラマが利用する 組み合わせ基係 える。演習は重 の教育 教科目担当教員 ごとの独め方、 の法則と積の ではない問題の解 ではない問題の解 はない問題の解 がある。 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない言葉の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。 管を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 可実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明でき、解くことが出来る を対し説明できる 解し説明できる 解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる		
教育方法 概要 受業の進む 注意点 授業計画	力方·方法 IstQ	離対本 座ら 1	をとは与えられた問では知み合わせ世中論では組みの宜はボートをでは担みの宜はボートをでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 との形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 ははよる表現について り(1) り(2)	解かせる・写体 (にプログ) (にアリーグ) (にアリーグ) (にアリーグ) (にアリーネット (水)	ラマが利用する 組み合わて基値 表える。演習は重部科学省の教育 教科目担当教員 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。整を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 意大連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、。 は、自然にない。 は、。 は、。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		
教育方法 概要 授業の進む 注意点 授業計画	力方·方法 IstQ	離対本 座ら 1. 1. 1 2 3 3 3 3 4 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7 1 5 7	をとは与えるとれた問な学では組み合わせ世理論をはまる。適宜は課題レポート員は対している教員は当りでは、これを対している。 記述 はいまれる 教員は当りでは、これを対している。 記述 はいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる かいまれる はいまれる かいまれる はいまれる はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん はいまん	題をコンピュータで: れるがぐたいてきに さどグラフ理論を記号 との形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 ははよる表現について り(1) り(2)	解かせる・写体 (にプログ) (にアリーグ) (にアリーグ) (にアリーグ) (にアリーネット (水)	ラマが利用する 組み合わせ基係 える。演習は重 の教育 教科目担当教員 ごとの独め方、 の法則と積の ではない問題の解 ではない問題の解 はない問題の解 がある。 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない問題の解 ではない言葉の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。整を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 意大連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、。 は、自然にない。 は、。 は、。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		
教育方法 概要 受業の進を 注意 業計 調期	大等 か方・方法 IstQ 2ndQ	離対本 座ら 1. 2. 授	をとは与えられた問では与えるとも可能を対している。 では組 適 直は 課題 レポート を	題をコンピュータで れるがぐたいてきに たどグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 は1) (1) (1) (1) (2) (3) (4)	解かせる・写体 (にプログ) (にアリーグ) (にアリーグ) (にアリーグ) (にアリーネット (水)	ラマが利用する 組み合わて基値 表える。演習は重部科学省の教育 教科目担当教員 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。整を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 意大連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、連絡してください。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、自然にない。 は、。 は、自然にない。 は、。 は、。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		
教育方法 概要 授業の進を注意は、 対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	大等 か方・方法 IstQ 2ndQ	離対本 座ら 1. 授 数 3 4 7 にか 験 で 2. 授 業 9 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 1 1 2 週 週 週 週 1 1 2 週 週 週 1 1 2 週 週 1 1 3 週 1 4 3 週 1 5 1 6 週	をとは与えられた問かでは組み合わせ理論にある合わせ理論にある合わせ理論にある。	題をコンピュータで れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 は(1) り(1) り(2) り(4)	解かせる際にプログス は集合・字像合作 (本) を (本)	ラマが利用する 組み合わて基値 表える。演習は重部科学省の教育 教科目担当教員 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	る数学である。近年では有限の対象に論、グラフ理論を中心に展開される。整を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 事実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明できる解し説明できる解し説明できる解し説明できるを理解し説明できるを理解し説明できるを理解し説明できるを理解し説明できるとなが出来るとない。		
教 概 授 注 授	大等 か方・方法 IstQ 2ndQ	離対本 座ら 1. 2. 授	をとは与えられた問では与えるとも可能を対している。 では組 適 直は 課題 レポート を	題をコンピュータでに れるがぐたいてきに とグラフ理論を記号 照可能な小試験を実 の形で提出してもら 、JABEE、大学評価 該授業が行われる少 別(1) 別(2) 別(4) 算量(2)	解かせる際にプログス (大学) を は	ラマが利用する 組み合われて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎をある。 部科 学 担 担 担 到 達 は の	る数学である。近年では有限の対象に 点、グラフ理論を中心に展開される。 逆を教授する。 単元ごとに実施し前で説明する。当た 背実施検査に使用することがあります 過へ連絡してください。 標 和や積の記号を使って数式を表現でき 法則を理解し利用できる について き方を説明でき、解くことが出来る き方を説明できる 解し説明できる 解し説明できる 解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる を理解し説明できる		
教 概 要 で	大等 か方・方法 IstQ	離対本 座ら 1. 授 数 3 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	をとは与えられた問かでは組み合わせ理論にある合わせ理論にある合わせ理論にある。	題をコンピュータでにれるがぐたいてきにいてきにいてきにいてきにいてきにいてもらいで提出してもらい、JABEE、大学評価該授業が行われる少さによる表現についてリ(1)リ(2)リ(4) (達目標学習内容の到達目標表の法則と和の法式とができる。	解かせる際にプログス (大学) はと論理ノーク (大学) を (大学)	ラマが利用する 組み合わいて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎を用いて基礎をある。 部科目担当教養 では、	る数学である。近年では有限の対象に		
教育方法概要授業の進を注意は業計画前期	大等 か方・方法 IstQ 2ndQ	離対本座られていいます。 1. 2 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	をとは与えるとれた問かではある合わせ世理論にある合わりでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	題をコンピュータでにれるがぐたいてきにいてきにいてきにいてきにいてきにいてもらいで提出してもらい、JABEE、大学評価該授業が行われる少さによる表現についてリ(1)リ(2)リ(4) (達目標学習内容の到達目標表の法則と和の法式とができる。	解かせる際になった。 はと論理 から はと論理 と を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ラマが利用する 組みからいます。 組みを用いて基は まなる。 部科科 目担当教育 である。 部科科 目担当教育 である。 部科科 目担当教育 である。 部科科 目担当教育 ではない。 では、 はないでは、 はないではないでは、 はないでは、 はないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	3数学である。近年では有限の対象に		

			集合に関する基本的	集合に関する基本的な概念を理解し、集合演算を実行できる。							
			集合の間の関係(関	集合の間の関係(関数)に関する基本的な概念を説明できる。							
			· 論理代数と述語論理	論理代数と述語論理に関する基本的な概念を説明できる。							
		情報理論	離散数学に関する知识 とができる。	離散数学に関する知識をアルゴリズムの設計、解析に利用することができる。							
評価割合											
	試験		ノート検査	演習	その他	合計					
総合評価割合	60		20	20	0	100					
基礎的能力	50		20	15	0	85					
専門的能力(評価項目 3)	10)	5	0	15					
分野横断的能力	0)	0	0	0					